



誰かを頼ること、相談することは大事なこと

校長 見原 仁

34日間の夏休みを終え、学校に子どもたちの元気な声が戻ってきました。学校はやはり子どもがいないと学校ではありません。活気あふれる校舎は、私自身心が躍り、楽しい気持ちになります。

子どもたちは、夏休みを十分楽しんだようです。始業式で尋ねると「楽しかった」という子どもたちがとてもたくさんいました。夏休み中、大きな事故、けが、病気がなく本当にありがたく思っております。ご家族の皆様のご協力に深く感謝申し上げます。

上記の写真は、1階廊下、体育館入り口の様子です。夏休み中に床の張り替え工事を行い、校舎修繕工事が全て終了しました。

2学期始業式では、6月に子どもたちに投げ掛け、考えてもらった「きれいな学校、校舎を続けていくにはどうすればよいか」を紹介しました。「ごみをすてない、落とさない」「ごみが落ちていたら拾う」「掃除をすみずみまできれいにする」「使ったものは片付ける、元通りにする」「床やかべを靴などで汚さない、傷つけない」が主な考えでした。

そして、「これはみんなが考えたことです。だから、みんなで守りましょう。そうすれば、きれいな学校が続いていきますよ」と話しました。多くの方々のご支援により、以前よりもきれいな学校になりました。それを、できる限り維持していくことがとても大切です。子どもたちのアイデアと行動力を生かし、きれいな校舎を保っていきたいと思います。

さて、2学期が始まり数日が過ぎました。お子さんの様子はいかがでしょう。夏休みに正しい生活リズムを保ったお子さんでも、この暑さで心身ともにやや疲れているのではないのでしょうか。是非体を大事にしてほしいと思います。体の疲れが心の疲れにつながっていくこともあります。そうすると、少しのことで悩んだり困ったりします。

私は、これまでも幾度となく「子どもの変化に気付ける教師に」と職員に話してきました。私自身もそうしてきました。しかし、どうしても変化に気付けないこともあります。だからこそ、子ども自身が「困ったら、悩んだら誰かに話す」を実行してほしいと強く感じています。誰かを頼ることは大事なこと、いいことなのです。そうやって自分の心を少しでも安定させることが、次への一歩につながるのです。

ですから、始業式では子どもたちに「困ったら、悩んだら、誰かに話してください。話すだけで気持ちが楽になることってあるのです。」と話しました。

ご家庭で、お子さんに関して気になることがありましたら、是非学校へお知らせください。子どものためにご家庭と一緒に精一杯考えます。2学期も教育活動へのご支援、ご協力を賜りますようお願いいたします。



ほ う な い

第6号

村上市立保内小学校

強い力 豊かな心

〒959-3107

村上市下鍛冶屋 264-2

TEL 0254-62-2302

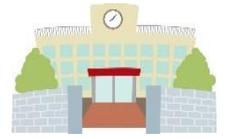
FAX 0254-62-5553

school@honzaire.murakami.ed.jp

保護者アンケートの結果について

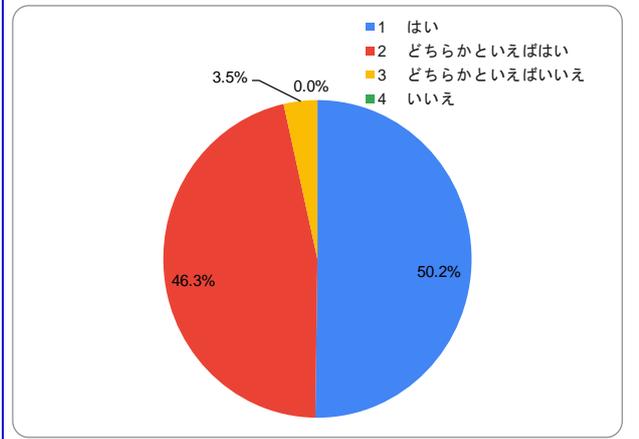
1学期に保護者の皆様にアンケートを実施させていただきました。ご協力ありがとうございました。

(A→はい、B→どちらかといえばはい、C→どちらかといえはいいえ、D→いいえ)

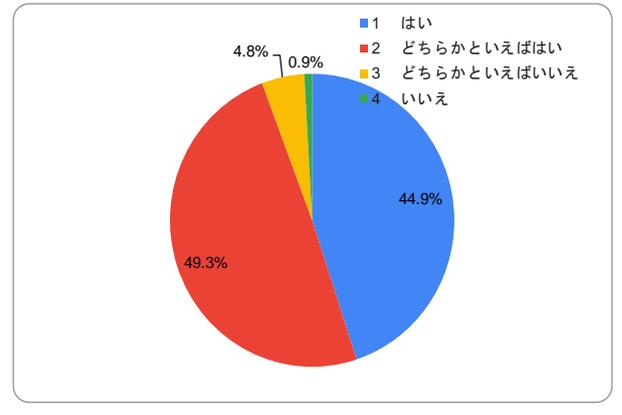


学校関係項目について

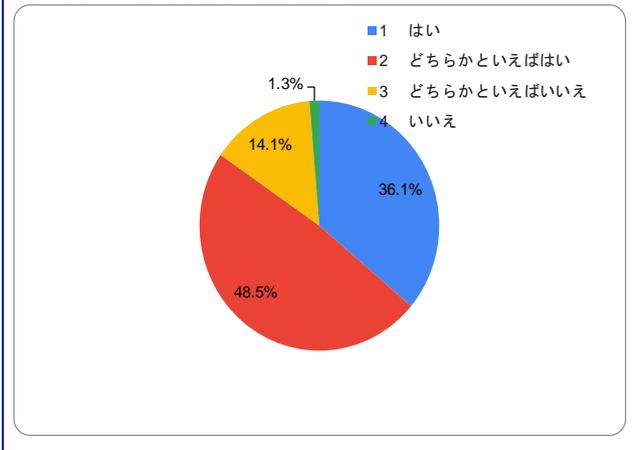
1 学校は、児童の学習内容の理解に向け、努力している。



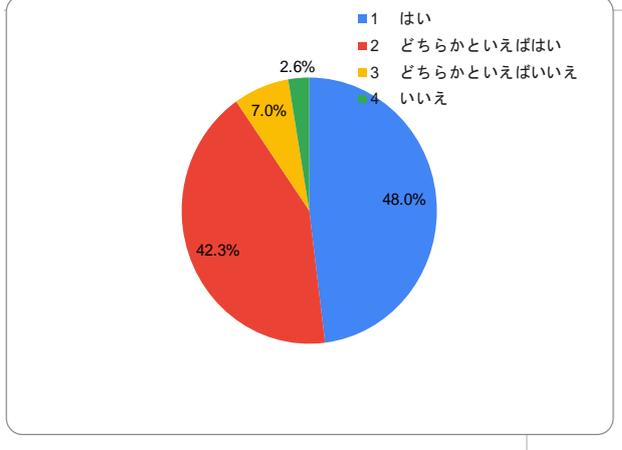
2 学校は、児童の社会性の育成と、よりよい人間関係作りに向け、努力している。



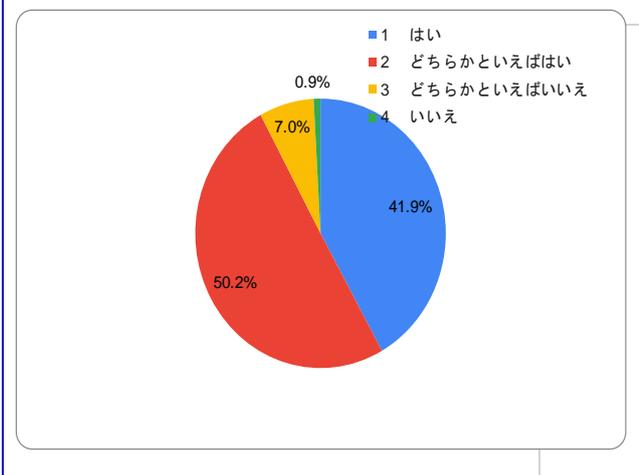
3 学校は、運動に意欲的に取り組み、よりよい生活習慣、食習慣の育成に向け、努力している。



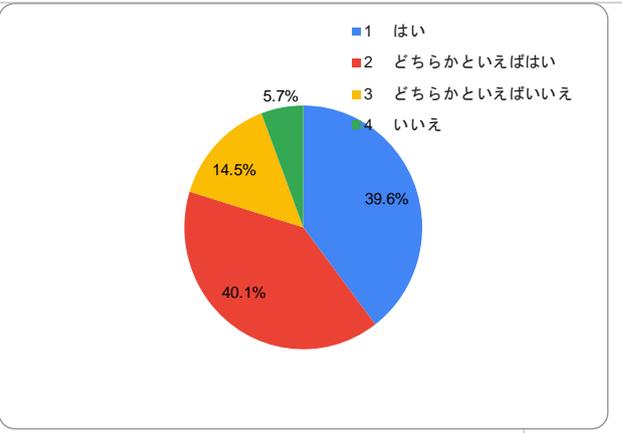
4 学校は 学校生活の様子を知らせている。



5 学校は、保護者の要望や相談等に丁寧に対応している。



6 学校は、地域と連携（ひと、もの、こと）した教育活動を行っている。



多くの項目について、肯定的評価が90%以上の高評価でした。学校の教育活動へのご理解とご協力をいただき、大変ありがとうございます。今後も職員の丁寧な対応に努めてまいります。

今年度は、新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、プール授業の実施や学習参観、校外学習などの活動を実施しております。これから、地域と連携した教育活動を更に充実するように努めてまいります。今後も、毎月の学校便り、各学年便りの発行、ホームページの更新などで、児童の様子を発信していきますので、ぜひご覧ください。

また、行事案内時期についてご意見をいただきました。およそ1ヶ月前までには詳細をお示ししたご案内ができるように努めてまいります。また、PTA総会資料として、年間行事予定も配布しております。ホームページにも年間行事予定を掲載していますので、そちらもご確認ください。

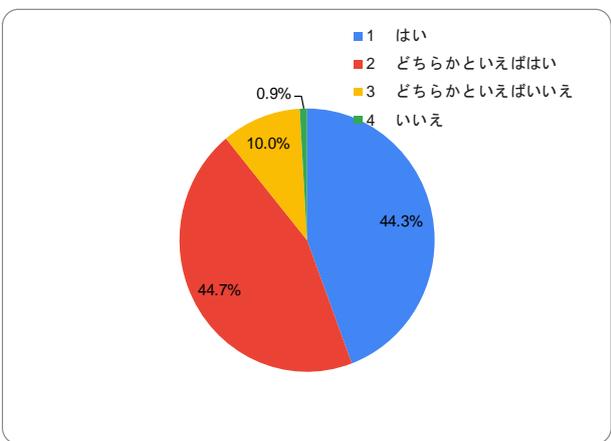
学校行事やコロナ禍を経ての体力低下を心配するご意見をいただいております。学校行事については、授業時数の確実な実施を第一に考えつつ、運動会等でのさらなる教育効果を図っていきけるように年間を通して今後も計画してまいります。児童の体力面についても、体育の授業の充実を図ることで、体力向上に努めていきます。

宿題や課題へのご協力には大変感謝しております。宿題の量や学習内容の理解への不安についての記述もありました。学校では、授業研修を通して授業を充実させることはもとより、サブタイム等で学び直しをしたり、個別指導をしたりしています。担任との教育相談、通級指導担当職員との面談など、子どもたちのために有効な支援を考えてまいりますので、いつでもご相談ください。

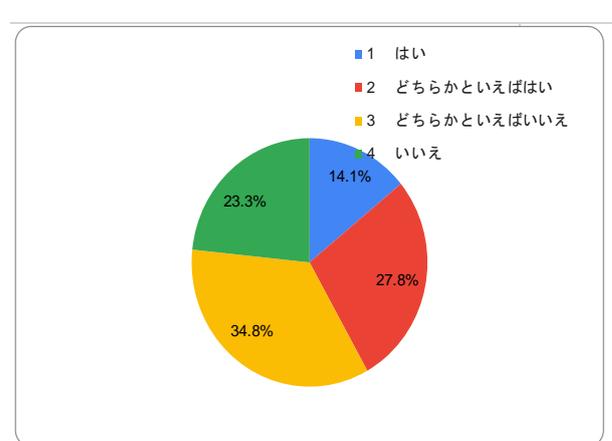
学校への連絡は連絡帳、電話連絡、来校などで対応します。電話は7:45~18:00の間にしていただくと助かります。心配なことは遠慮なく学校に連絡してください。保護者の方と情報を共有しながら、問題の早期発見、早期解決につながるよう、連携して進めていきたいと思っております。また、スクールカウンセラーが定期的に来校しておりますので、担任に希望を伝え、ご利用いただきますようお願いいたします。

家庭関係項目について

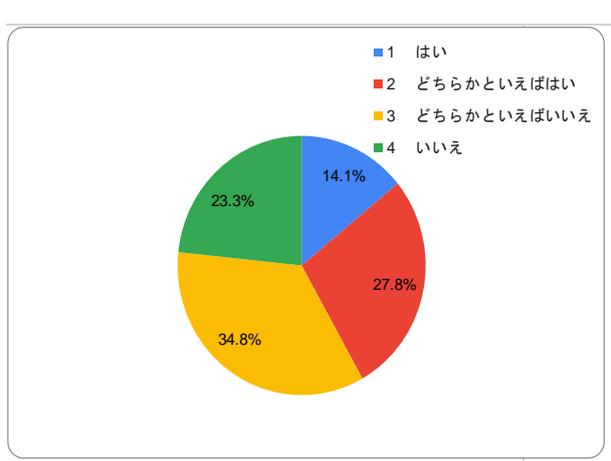
1 子どもは、「学年×10分」以上、家で学習している。



2 子どもは、家庭や地域であいさつをしている。



3 子どもは、寝る1時間前までに、メディアから離れている。



家庭での生活習慣では、家庭学習の項目の肯定的評価が高い結果となりました。児童の家庭学習環境を整えていただき、ありがとうございます。今後ともよろしく願いいたします。

一方で、あいさつやメディアの項目については学校でも家庭でも指導を継続していく必要があります。あいさつはコミュニケーションの基本であり、児童に是非身に付けさせたいことです。また、メディアについては、質の高い睡眠習慣の確立のためお子さんと家庭でも話し合ってください。学校でもそれに加えて、情報モラル、情報リテラシーについて指導を続けていきます。

第2学期始業式



8月28日(月)暑さが厳しいため、2学期の始業式はオンラインで行いました。校長は「きれいになった学校をきれいなままで続けていこう」「困ったら、悩んだら誰かに相談しよう」と子どもたちに話しました。生活指導部は「あいさつを友達、先生、地域の人に響かせよう」と子どもたちに呼びかけました。各教室で校歌を元気よく歌い、しっかりと話を聞いていました。

市内めぐりと市長さんと語る会



夏休み中の8月4日(金)に荒川地区青少年育成市民会議が主催した「市内めぐりと市長さんと語る会」が行われ、保内小学校からは6年生6名、5年生8名、計14名が参加しました。最初に村上市役所へ行き、庁舎内、議会場を参観しました。その後、市長さんと語る会を行いました。子どもたちは市長さんへ質問を行い、市長さんは丁寧に答えてくださいました。市長さんのご厚意で市長室にも入れてもらいました。その後は、縄文の里でそば打ち体験と食事をして、荒川公民館へ戻りました。貴重な体験ができました。

転入生が仲間入り！

2学期から転入生2名が保内小学校に仲間入りしました。



2の1 嵐 優晴(ゆうせい)さん
4の1 嵐 陽咲(ひさき)さん
です。村上小学校から来ました。始業式で立派に自己紹介ができました。早速教室でお友達とお話する姿が見られました。全校のみんなが仲良くしてほしいと思います。